

作業療法学科	氏名	自己紹介	訂正
学科長	川上 和敏 Kawakami Kazutoshi	作業療法学科学科長の川上です。今年度から2年生の担任を受け持たせて頂いております。本校の教員となり16年目になります。前職は臨床の現場で作業療法士として17年間従事しておりました。作業療法の魅力や価値を伝えたいと思い、教員として学生と接してきました。学生が人として・作業療法士として成長していく姿を間近でみることが最大の楽しみとなっています。同時に学生一人ひとりの成長スピードやタイミングはそれぞれで、教育の難しさを日々実感しています。	
教員	西口 嘉和 Nishiguchi Yoshikazu	本校に勤務して18年になります。入学後の学生さんの成長にはいつも驚かされております。とりわけ臨床実習後はプロとして自覚する学生さんが多いように思います。一方、以前に比べ良くも悪くもおとなしい学生さんが増えた印象もあります。もちろん学業優先なのは当然ですが、より良いセラピストになるためにも、旅、読書、スポーツなど、今しかできない、もしくは今の感性でしか得られない経験をする、そうした機会を今後も提供していけたらと日々考えています。	
教員	石井 綾子 Ishii Ayako	私は本校の卒業生（4回生）になります。縁があり母校にて教員として作業療法士の担い手の育成にかかわらせて頂いております。今年で7年目になります。「距離感の近さ」・「話しかけやすい」をモットーにしています。学校の中でもたくさん話しかけてください。楽しい学生生活を一緒に過ごしましょう。保護者の皆さんにも作業療法士の楽しさ・やりがいを発信して行けたらと思っています。	訂正前は石井教員と鈴木教員の自己紹介文が入れ替わっておりました。
教員	鈴木 涉 Suzuki Wataru	平成25年に北都の専任教員となり、現在は作業療法学科3年生の担任をしています。3年生は、2つの臨床実習があり、7月より評価臨床実習がスタートしておりますが、実習施設における新型コロナウイルス感染者の発生により、途中で中止をせざるを得なくなった学生もおります。そのような状況になったとしても、学内実習にて単位を履修できるよう取り組んでまいりますので、何卒ご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。	
教員	三浦 太一 Miura Taichi	作業療法学科4年生を担当しております三浦です。現在、4年生は長期(9週間)の実習を終え、休むことなく卒業研究に取り組んでおり、大変な状況であっても決して顔に出さず、また声にも出さず、出せず??頑張っております。4年間を通じて職業人になるべく、こうした忍耐力や気持ちをコントロールする力など、入学時から成長していく学生をみることに、関わっていくことがとても楽しみであり、教員としての醍醐味と思います。どうぞ宜しくお願いします。	
教員	西館 潤 Nishidate Jun	専任教員をして5年目になります。赴任前は稚内市や旭川にて臨床業務に携わっておりました。その中でも訪問リハビリテーションや訪問看護の業務経験が一番長くなっております。そんな中、縁あって赴任後も地域リハビリテーション関連職種の方々と協業し現在も教員業務の傍ら携わらせていただいております。「旭川ラジオ体操雪かきVer.」はその中での取り組みになります。また取り組みには学生も参加してもらうことで経験を積む機会にしてほしいと考えております。 現在もyoutubeにて公開しております。ご視聴いただき興味を持ってもらえると嬉しいです。 https://youtu.be/bziuSeNIwxo	